

## 『女性歴史文化研究所紀要』執筆要項

1. 他者の著作権や人権を侵害することがないように注意する。
2. 分量は、原則 20,000 字、英文は 5,000 語前後とする。（図・表・写真等を除く）
3. 論文題名の英訳を添える。
4. 原則として、Word で作成する。
5. フォントについて、和文の場合は<MS 明朝>：10.5 ポイント（全角）、  
英文の場合は<Times New Roman>：12 ポイント（半角）とする。
6. 執筆の形式は、縦書き・横書きのいずれでもよい。
7. 和文の場合、句点は「。」読点は「、」とする。
8. 章・節は、縦書きの場合、一、二…、1 2…  
横書きの場合、1 2…  
を基本とするが、独自の付記も可とする。
9. 注) は、本文全体の最後でも、各章ごとでも可とする。ただし、本文中への割注) はしないこと。  
表記は、基本的に以下のように統一する。  
縦書きの場合 1 2 該当箇所最後の右傍行間  
横書きの場合、(1) (2) 該当箇所最後の上付け 例) 『宝石』<sup>(1)</sup>において…
10. 略語は、初出の時に正式名称の後に括弧書きで記入する。  
例) パーソナルコンピューター（パソコン）は…
11. 図表等には、図 1 表 1、または Fig.1 Table1 とし、適宜表題を付記する。なお、表の版組については  
編集上、調整することがある。
12. 年号表記について、元号を用いる場合は少なくとも各章の初出の際には、（ ）で西暦を併記する。  
例) 平成 25(2013)年における…
13. 引用文献表示の書式については、それぞれの学会等の慣例に従ってわかりやすく表記する。  
例) 著者名：田端泰子 本タイトル：『日本中世の女性』 掲載誌・出版社名：吉川弘文館  
発行年：一九八七年
14. 本学ホームページでの論文公開のため、抄録を作成する。抄録は和文 450 字以内、英文 300 語以内とし、  
「目的、方法、考察、結論」など項目ごとに記載する。  
また、抄録の末尾に適切な日本語及び英語のキーワードを 3～6 語付記する。  
例) 中世、女性、身分